

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1  
電話：03-3541-5151  
担当者の所属・氏名 ブレストセンター 越智 友洋

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 ブレストセンター 越智 友洋

トリプルネガティブ乳癌およびHER2 陽性乳癌における、  
腫瘍周囲リンパ球の程度が術前化学療法の治療効果および  
予後に及ぼす影響について

**1.研究の対象**

2001年1月から2009年12月までに、術前化学療法後手術を施行したトリプルネガティブ乳癌およびHER2陽性乳癌の患者さん

**2.研究の目的・方法**

目的:腫瘍周囲のリンパ球が低発現であることが治療効果及び予後に及ぼす影響について検討すること

方法:術前化学療法前および化学療法後検体における腫瘍周囲のリンパ球の発現度を10%をカットオフとして2群に分け、病理学的完全奏効率(pCR)および無再発生存期間(RFS)との関連を検討した。

研究期間:研究倫理審査委員会承認後 ~ 2018年12月

**3.研究に用いる試料・情報の種類**

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

病歴、抗がん剤治療の治療歴、年齢、腫瘍のサブタイプ、核グレード、化学療法前後での腫瘍周囲のリンパ球数(sTILs)、術後病理結果(腫瘍径、リンパ節転移の個数)、病理学的腫瘍効果判定、再発の有無、再発までの期間(RFS)

《試料》

特になし

**4.外部への試料・情報の提供**

当院のみのデータであり、外部へ提供することはありません。

**5.研究組織**

聖路加国際病院 研究責任者 越智 友洋